江戸川区立小岩第二中学校 第２学年　学年だより	
第２０号	令和８年１１月１１日

かがやき

作文「文化発表会を終えて」

先日はご多用のところ、文化発表会にご参列いただき、ありがとうございました。生徒の一生懸命な姿はいかがでしたか。１０月２９日(木)６時間目に、文化発表会を振り返る作文を書きました。各クラス１人ずつ紹介します。３、４、５組については次号以降に掲載させていただきます。



「文化発表会」

２年１組１３番　K.M.

ステージに上がった瞬間、周囲の雑音が消え去ってしまうほどの緊張感に包まれた。心臓が激しく波打っている。眩しすぎるライトに目を閉じてしまいそうになったが、ステージでの表情も大切だと思い我慢した。一生懸命口を開け、明るい笑顔を意識して伴奏を聴いていた。

私たちの自由曲は「心の瞳」だ。私はアルトパートを担当した。低い声で合唱を支える重要な役割だが、練習では思うように声が出ず、何度も悩んだ。周りの声にかき消されてしまいそうになり、焦ることもあった。

それでも自分なりに、できる限り大きな声を出し、家でも音源を何度も聴き込んだ。ただ声を出すだけでなく、歌詞のもつ温かさを歌声に乗せようと心掛けた。本番では、その練習の成果をすべて出そうと頑張った。

結果発表の瞬間、張りつめた空気が漂った。私たちのクラスは銀賞だった。金賞に届かなかった悔しさと全力でやり切った達成感、充実感が同時に込み上げてきて、胸がいっぱいになった。

金賞をとることはできなかったけれど、みんなで１つの合唱を創り上げた経験には、大きな意味がある。今回のコンクールを通して、私は努力し続ける大切さを学んだ。このコンクールで深まったクラスの絆をこれからの糧にして、どんな壁にぶつかっても諦めず、しっかりと努力し続けたい。また、ここで得た絆を大切に、これからの学校生活を全力で歩んでいきたい。



「言葉の大切さ」

２年２組２２番　N.K.

私は、この文化発表会で言葉が大切だと思ったことが２つあります。

まずは、歌詞を覚えるということと、歌の歌い方です。本番は教科書を見ることができないため、歌詞を覚えられるか心配でしたが、声に出して歌詞を読むことですぐに頭に定着しました。歌詞を覚えてからは、歌うときの音の強弱や音程に注意して歌いました。

次に、とても言葉が重要だと思った出来事で、相手への言葉の伝え方や言い方です。私たちテノールは、パートリーダーたちとよく対立していて、言い合いになることが多かったです。その時は、めんどうくさいという感情がありましたが、よく考えるとパートリーダーたちが熱くなっているのは、私たちの歌をよくするために頑張っていることに気づきました。この気持ちに気づいた私は、パートリーダーたちの意見を真剣に受入れ、練習に取り組みました。

私は、今回の文化発表会で金賞や銀賞をとることよりも大切なことがあると気づきました。それは、チームワークです。全員が１人の意見を真剣に受け入れることや、一人ひとりが敬意をもつことで、クラスがまとまり、良いチームワークのクラスになれました。

今回の文化発表会で学ぶことができたチームワークや言葉の大切さ（言い方や伝え方）を今後の生活に生かしていきたいです。

保護者の皆様

明日で２学期期末考査が終了します。職場体験と文化発表会等、行事が続いておりますが、３学期には小岩第二中学校に入学して初めての移動教室（宿泊）を実施予定です。

移動教室に向けて、**明日12日（木）13時30分より2年生移動教室説明会を体育館にて実施**します。**保護者受付は、13時15分から**となっております。

なお、説明会には保護者と同時に生徒も参加します。お忙しいところ恐れ入りますが、皆様のご来校をお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。